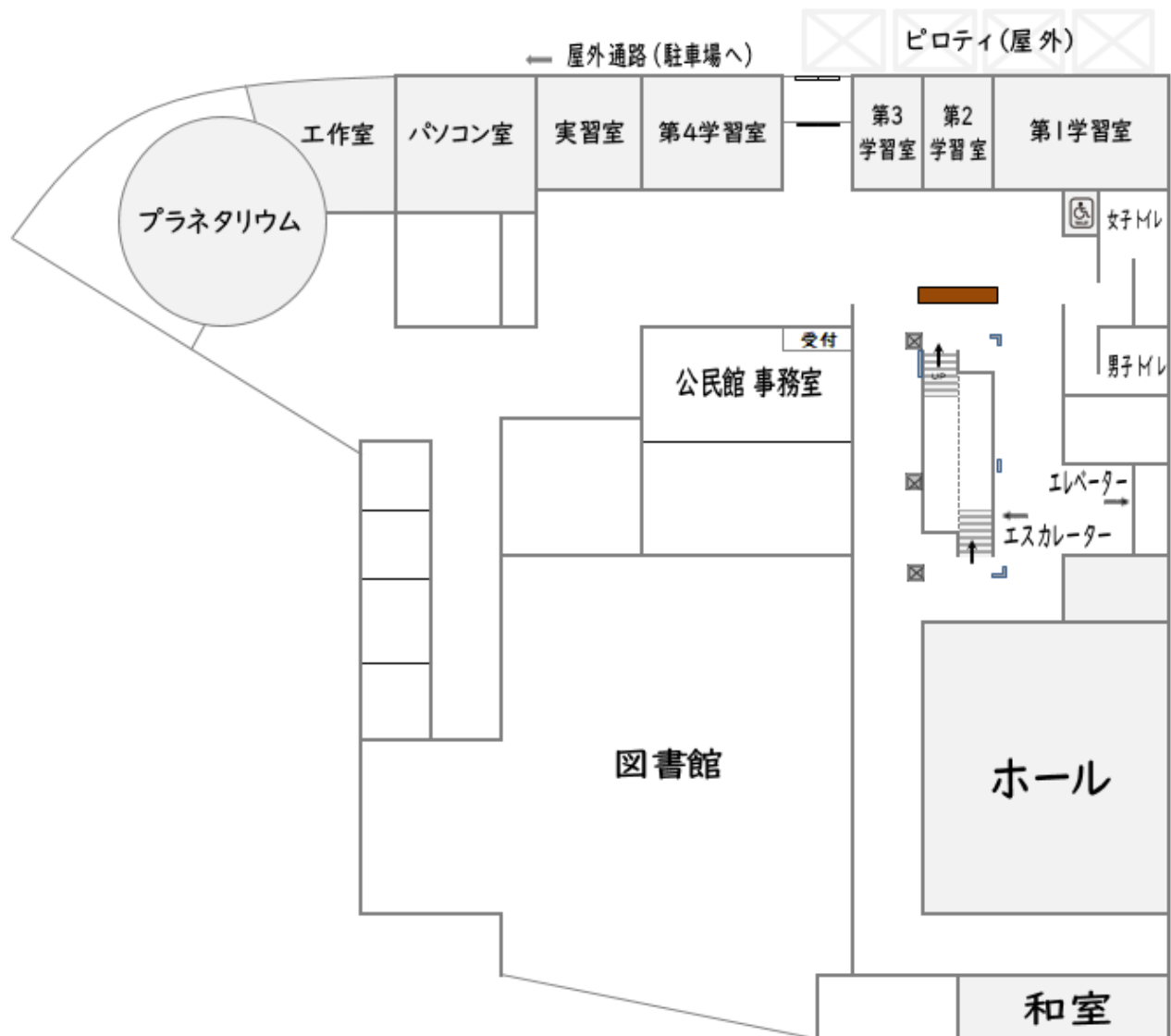


牧志駅前ほしぞら公民館



利用施設のご案内

牧志駅前ほしぞら公民館 平面図 (さいおんスクエア3階)



部 屋 名	収容人数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	120人程度	研修会、講演会、発表会、音楽会等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
第1学習室	40人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第2学習室	15人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第3学習室	15人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第4学習室	30人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
実 習 室	20人程度	料理実習、会議等 (IH調理台 (4台)、料理用器具等)
パソコン室	40人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
工 作 室	15人程度	工作実習、会議等 (イス、テーブル)
和 室	15人程度	お茶、生け花、着付けの学習会等 (テーブル)
プラネタリウム	84人	プラネタリウム投影 (デジタル式、光学式)

I 牧志駅前ほしぞら公民館の沿革

久茂地公民館の沿革（牧志駅前ほしぞら公民館の前身）

久茂地公民館の建物は元々、昭和41年、「沖縄子どもを守る会」が青少年健全育成の場として建設した「沖縄少年会館」であり、当時は、その規模・施設等、最も進んだ教育施設として、沖縄の青少年健全育成に果たした役割は多大なものがあつた。しかし、その後、館の運営を維持することが財政的に困難となったため、昭和54年4月1日付けで那覇市に譲渡され、久茂地公民館として生まれ変わった。

昭和54年4月4日	公民館の施設提供が開始された。
5月8日	プラネタリウム事業が開始された。
昭和60年4月23日	久茂地公民館利用団体連絡協議会発足（70団体）
平成2年4月19日	久茂地公民館10周年記念誌が発刊された。
12月7日	第20回沖縄県公民館研究大会において優良公民館として表彰される。
平成9年10月30日	第50回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
平成23年4月30日	施設の老朽化のため休館した。なお、休館に際し、4月29日・30日にプラネタリウムの最終投影会を開催した。
平成23年7月8日	久茂地公民館が廃止された。

牧志駅前ほしぞら公民館の沿革

牧志駅前ほしぞら公民館は、平成23年7月8日、久茂地公民館の機能を移転する形で開館した。同館は牧志・安里地区市街地再開発地域（愛称「さいおんスクエア」）における12階建て複合施設の3階に、プラネタリウムのある公民館として、牧志駅前ほしぞら図書館とともに設置された（1・2階は商業・宿泊施設、4～12階は宿泊施設）。この複合施設の建築工事は、平成21年11月9日に着工し、平成23年3月18日に竣工した。

平成23年7月8日	久茂地公民館が廃止され、同館の機能を移転する形で、牧志駅前ほしぞら公民館が開館し、館長 田端研二が発令された。なお、同日から7月10日までの3日間、さいおんスクエアのまちびらきまつり開催に合わせて、公民館のオープニングイベントを開催し、多くの市民で賑わった。
平成23年11月28日	牧志駅前ほしぞら公民館利用団体連絡協議会の設立総会が開催された。
平成24年3月	旧沖縄少年会館 旧那覇市久茂地公民館 旧那覇市立久茂地図書館記念誌が発刊された。
平成27年3月4日	第67回文部科学大臣優良公民館の表彰を受ける。
平成27年9月5日	牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム観覧者数10万人達成する。
平成28年4月1日	館長 田端研二配置替えにより、館長 比嘉徳広が発令された。
平成30年4月1日	館長 比嘉徳広配置替えにより、館長 田端研二が発令された。
令和2年4月1日	館長 田端研二退職に伴い、館長 末吉雪乃が発令された。
令和4年1月27日	牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム観覧者数20万人達成する。

Ⅱ 令和3年度牧志駅前ほしぞら公民館事業目次

1 学習風景（写真）	1 4 3
2 成人一般対象事業	
〔1〕 市民講座	
◇「ひきこもり」について知っておきたいこと R3	1 4 4
◇「歴史散歩」安里編	1 4 5
〔2〕 成人講座	
◇星のソムリエ 星空案内人になろう	1 4 6
3 高齢者対象事業	
〔1〕 高齢者学級	
◇コロナに負けない体力づくり筋力アップ↑ウォーキングの基礎を学ぼう	1 4 7
◇マイナス10歳「若返り術」	1 4 8
◇薬膳料理で免疫力アップ↑させよう！	1 4 9
4 青少年対象事業	
〔1〕 少年教室	
◇絵画（お絵描き）教室	1 5 0
〔2〕 青年講座	
◇「幸せに生きるために」	1 5 1
〔3〕 親子ふれあい教室	
◇親子星空教室	1 5 2
5 家庭教育事業	
〔1〕 家庭教育学級	
◇宇宙の学校「わたしたちも宇宙人」	1 5 3
◇☆凸凹キッズの子育て術☆なんでもないを楽しもう	1 5 4
〔2〕 乳幼児学級	
◇にゅうじランド	1 5 5
6 その他の事業	
〔1〕 プラネタリウム事業	1 5 6
〔2〕 プラネタリウムにおける新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み	1 5 7
◇特別投影 3年ぶりだよ！皆既月食	1 5 8
◇撮ったよ～！3年ぶりの皆既月食	1 5 9
◇部分月食特別投影	1 6 0
◇熟睡プラ寝たリウム	1 6 1
◇沖縄の天気と星空観察	1 6 2
◇10周年記念特別投影「思い出はあざやかに」	1 6 3
7 公民館まつりについて	1 6 4

1 学習風景



市民講座
「歴史散策 安里編」



高齢者学級
「コロナに負けない体力づくり筋力アップ↑」



青年講座
「幸せに生きるために」



家庭教育学級
「宇宙の学校『わたしたちも宇宙人』」



乳幼児学級
「にゅうじらんど」



プラネタリウム事業
「部分月食特別投影」

2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

「ひきこもり」について知っておきたいこと R3

趣 旨：ひきこもりの長期化・悪化を心配する市民や、8050問題に対して、行政だけではなく多方面から情報を提供することにより不安解消へと近づけていく。また、現在はコロナ禍の休校によって不登校の増加も懸念されるため、不登校についても触れる。

「ひきこもり」について知らない人にも決して無関係ではないことを考えてもらう機会とし、社会全体で取り組むべき課題であることを理解してもらおう。前年度中央公民館で実施し好評だったため、今年度はほしぞら公民館にて実施する。

配信期間：10月15日（金）～11月30日（火）

場 所：インターネット動画アプリ You Tubeにて限定配信

対 象：那覇市在住または在勤で、ひきこもり・不登校、当事者の家族およびテーマに関心のある人

受 講 料：無料 定員：なし 申込人数：84人 視聴回数：628回

講 師：1～3 松本 大進（s o r a e）、4 伊禮 嘉宣（沖縄県ひきこもり専門支援センター）

★★ 学習プログラム ★★

	内 容	
1	進路が決まらない若者たち	・ s o r a eについて ・ 自立困難な若者たちの現況
2	トラウマが与える影響	・ 支援の体制 ・ トラウマの構造
3	支援者への支援	・ 相談業務とその対応について
4	ひきこもることにより起こりうること	・ ひきこもりのシステム ・ ゲーム依存 ・ 基本的対応について
5	Q&Aと那覇市の各相談窓口について	・ 受講生からの質疑応答 ・ 那覇市の問い合わせ窓口について

【参加者の声】

- ・ これまでもひきこもり関連の講座を受講しました。ペアレントトレーニングという言葉はよく聞きますが、ケアする側のトラウマ、怒り、悲しみという立ち入りにくくも重要なことをしっかり教えてください、大きな気づきになりました。コロナにより行動が制限されると言われることが多いですが、個人としては子育てや費用と時間のやりくりで断念していた学びの場が無限大に広がり、ぜひリモート（リアルの対面・リモート、アーカイブ配信）での実施を今後も続けていただきたいです。
- ・ 引きこもりについて、知ることができた。動画をみて、夫婦でs o r a eへ通うようになった。
- ・ 自分自身の関わりを考え直すきっかけになりました。また、ひきこもりの人への対応が具体的に分かりましたので、明日から使いたいと思いました。
- ・ オンライン講座、ありがたいのですが、コロナ禍の中、オンライン講座が多くて、リアルタイムでの視聴が難しい時があるので、視聴期間が長く繰り返し見れることは本当にありがたいです。



聴が難しい時があるので、視聴期間が長く繰り返し見れることは本当にありがたいです。

【まとめ】コロナ禍によって不登校の増加が懸念されていることもあり、対象年齢を下げた。それを補足できるように前年度の動画も配信した。ヒトゴトではなく、誰もが隣り合わせの課題だと意識してもらえればと考える。また、市民の不安に対処するのは公的機関の役割だと再認識した。

歴史散歩 安里編

趣 旨：公民館開館10周年記念に伴い、安里周辺を廻り歴史や背景、文化等を実際に歩いて観て健康的
且つ楽しく学習する。

期 日：令和4年3月19日（土）

時 間：10:00～12:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館（第2学習室集合）

対 象：那覇市在住・在勤・在学の18歳以上の人

受 講 料：無料（但し、保険料100円は自己負担）

定 員：10人

申込人数：16人（うち受講決定人数16人）

参加延べ人数：16人

講 師：上江洲 仁勇・眞喜志 修（NPO法人那覇市街角ガイド）

★★ 学習プログラム ★★

日 程	学 習 内 容	参加人数
3月19日（土）	ほしぞら公民館スタート→東の御嶽→浮縄御嶽→崇元寺→崇元寺御嶽→金満宮→久米国鼎墓→神徳寺→安里八幡宮などをガイドと廻り、その歴史や文化を楽しく学びながら地域の魅力を再発見する。	16人

【参加者の声】

- ・これまで知らなかったことを学べて良かった。
- ・一人ずつイヤホンが使えて良かったです。
- ・地域がますます好きになりました。日頃の疑問が解けました。ぜひまた開催してください。

【まとめ】

公民館の開館10周年に伴い企画した講座です。身近な安里地区の文化財・遺跡などを講師と巡り、歴史や文化などの知識を習得し、またお互いの情報を交換し合う講座となりました。イヤホンを一人ずつ装着し離れたところからでも講師の声が届くので密にはならず、感染症予防になっていました。参加者からは続けて欲しいとの声が多く、次年度も歴史散歩は続けたいと思います。



崇元寺石門の中



東の御嶽



久米国鼎墓



安里八幡宮



神徳寺

〔2〕 成人講座

星のソムリエ 星空案内人になろう

趣 旨：星空と宇宙の基礎知識、望遠鏡の原理や使い方、星空案内を行う際の楽しみ方や注意点を学び、実際に地域などで活躍する星空案内人としての人材を育てる。

期 間：11月20日（土）～3月26日（土）全7回

時 間：18：00～20：00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館

対 象：星や宇宙が好きな16歳以上

受 講 料：無料

定 員：15人

申込人数：25人（うち受講決定人数15人）

参加延べ人数：72人

講 師：田端 研二（元ほしぞら公民館長）、垣花 正男（元プラネタリウム操作技師）、
福里 美奈子（プラネタリウム操作技師）、米原 英樹（宇宙少年団名護分団長）



★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	タイトル	科 目	講 師	人数
1	11月20日（土）	さあ、はじめよう	必須	田端 研二	15
2	11月27日（土）	星の文化に親しむ	選択	田端 研二	12
3	12月 4日（土）	星座をつけよう	選択	垣花 正男	9
4	12月18日（土）	宇宙はどんな世界	選択	福里 美奈子	8
5	3月 5日（土）	望遠鏡のしくみ	必須	米原 英樹	10
6	3月19日（土）	望遠鏡を使ってみよう	選択	米原 英樹	9
7	3月26日（土）	星空案内人の実際、認定式・閉校式	必須	田端 研二	9

【参加者の声】

- ・みっちり勉強しました。大変だったけど楽しかったです。
- ・観望会での子どもの喜ぶポイント、面白い事、伝えるべき事など分かりやすかった。
- ・講座の合間に金星を観察できたこと、とても嬉しかったです。
- ・望遠鏡に触るのも初めてで、望遠鏡を組み立てた後にレンズを覗いて感動しました。
- ・星、宇宙についての知識を更に増やしていきたいと思います。
- ・コロナに負けず完走出来て良かった。

【まとめ】

コロナ禍で、実施時間の変更や延期、中断、回数減もあったが、やり終える事が出来て良かった。受講生の検温も毎回行い、換気にも気を付けた。6回目の「望遠鏡を使ってみよう」をホールで予定していたが、ワクチン接種会場となり、使用できず、2部屋を使用し実施したりと、例年とは違う動きを毎回のように余儀なくされ、そこに気を取られ、受講生への配慮やコミュニケーションは十分であったかと反省点はあるが多くの方の協力のもと実施できた事に感謝。交流会は持てなかったが、今後の勉強会や観望会へ案内できるようグループラインへの登録を行ったり、欠席者への補講も実施した。



3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

コロナに負けない体力づくり筋力アップ↑ウォーキングの基礎を学ぼう

趣 旨：コロナ禍で日頃の運動不足による体力の低下をウォーキングの基礎を学び健康増進に努める。

期 日：令和3年11月29日（月）

時 間：10:00～12:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館（ホール）

対 象：那覇市在住、在勤概ね60歳以上で健康な人

受 講 料：無料（但し、保険料として100円は自己負担）

定 員：10人

申込人数：11人（うち受講決定人数11人）

参加人数：11人

講 師：赤嶺 正哉（大浜第一病院リハビリテーション科）

補 助：福田 芙見子（大浜第一病院リハビリテーション科）



★★ 学習プログラム ★★

①運動機能向上の目的（講話）

②正しいウォーキング方法（実践）

歩く際の正しいフォーム、正しいウォーキングアップ、正しい歩行スピード、ウォーキング前の留意点



【参加者の声】

- ・ウォーキングはほとんど毎日しているのですが、基本的なことが出来てなかった気がします。今日教えていただき大変参考になりました。
- ・分かりやすい説明で温かみを感じました。
- ・マイクの音、スクリーンの文字の大きさも適切でした。説明も丁寧で聞きやすかった。若い方のエネルギーを戴きました。天気が悪かったのが残念でした。

【まとめ】

- ・コロナ禍での自粛が続ки中々運動もできず、そんな高齢者を対象に企画実施しました。当日は親水庭園をウォーキングの予定でしたが残念ながら雨模様だったのでホールで行うことになりました。
- ・ウォーキングは、必要な道具や環境を必要とせず「いつでも」「どこでも」「誰とでも」行うことができる最も手軽な運動となっています。ウォーキングで屋外に出ることで人と関わる機会が増えたり交流関係が広がったりすることが期待できます。

マイナス10歳「若返り術」

趣 旨：コロナ禍でマスクを外せない生活が続き、肌が無防備になりお化粧の仕方を忘れたシニアにマスク生活を楽しむ簡単メイクの仕方やお手入れ法を学びます。

期 日：令和3年12月13日（月）

時 間：10：00～12：00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館（パソコン室）

対 象：那覇市在住、在勤概ね60歳以上

受 講 料：無料

定 員：10人（※先着順）

申込人数：10人（うち受講決定人数10人）

参加人数：10人

講 師：友利 優子（印象力コンサルタント、メイクアップアーティスト、元CA）

★★ 学習プログラム ★★

①お化粧の生み出す価値について（講話）

- ・自分の肌に触れることは、自分をいたわり愛すること。
- ・自分の心・体と向き合う時間になる。

②おすすめスキンケア、メイク用品の説明

③メイクレッスン（実技）

【参加者の声】

- ・コロナ禍でマスク生活になり、いつの間にかノーメイクになっていました。毎日のようにお化粧をしていましたが、その順序さえ忘れていました。
- ・お化粧できれいになり元気が出て大変勉強になりました。
- ・化粧品やメイク用品等安くて手に入る物を紹介して頂き良かったです。
- ・講師が一人ひとり対応してくれて分かりやすくとても良かったです。

【まとめ】

- ・講師が一人ひとり丁寧にお顔に合ったメイクをすることで顔も晴れやかになる様子が伺えました。
- ・お化粧をしたことで気持ちが前向きになり自分に自信がつくと、人と会いたくなる。そして自分も周りも元気になる。ただ華やかに見せるだけがお化粧ではなく、お化粧は社会と自分を結ぶツールのひとつ、人と会う原動力になるのです。お化粧の生み出す価値を学べた講座でした。



薬膳料理で免疫力アップ↑させよう！

趣 旨：食と文化を学び生活習慣に薬膳を摂り入れ日々の食事を楽しく、そして免疫力を高め健康増進に努める。

期 日：令和3年12月6日（月）

時 間：10:00～12:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 実習室

対 象：那覇市在住、在勤概ね60歳以上

受 講 料：無料

定 員：10人（※先着順）

申込人数：10人（うち受講決定人数10人）

参加人数：10人

講 師：長嶺 由香（栄養管理士、国際中医薬膳師）

★★ 学習プログラム ★★

- ①免疫力をつけ感染症を予防するための薬膳の取り入れ方（講話）
- ②中医体質セルフチェック
- ③調理実演メニュー（黒米ごはん、ミヌダル島にんじんの味噌炒め、チムシンジ、かるかん）

【参加者の声】

- ・薬膳料理はハードルが高いと思っていましたがシンプルで分かりやすかったです。講師が素敵でとても楽しい講座でした。
- ・季節によって料理し、免疫力を付けてコロナに感染しないよう予防しようと思います。楽しかったです。
- ・健康は食にあることが学べて良かったです。
- ・講師のお話はとても分かりやすく、実践してみようと思えるものでした。料理も質疑応答しながらで大変参考になりました。

【まとめ】

コロナ禍で、人数や調理実習に制限があり少し物足りない感もありましたが、受講生からは結構質疑などがあり熱心さが伺えました。講師は一つ一つ丁寧に答えてくれたのが良かったです。

また、セルフチェック表で自分の体質を知ること、特徴や生活の心がけ、適する食材を知ることできる講座でした。



4 青少年対象事業

〔1〕 少年教室

絵画（お絵かき）教室

趣 旨：絵が苦手な子も、絵って楽しいんだと感じてもらおう。その体験を通して、視野の広がり、自己肯定感を高める一助とする。

期 間：11月28日（日）、12月5日（日）※同内容で2回開催

時 間：13：00～16：00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館

対 象：市内の小学生

受 講 料：無料（但し、材料費100円は自己負担）

定 員：各10組

申込人数：192組（うち受講決定人数20組）

参加延べ人数：14組（19人）

講 師：江谷 紋子（元美術教師・アートセラピスト） 助手：又吉 一仁

★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	学習内容	参加人数
1	11月28日（日）	・パワーポイントで絵の技法の説明や作品を観る ・水彩画の技法を実際に学ぶ ・学んだ技法を取り入れ、自分の作品を完成させる ・作品に題名を付け、発表	6組（7人）
2	12月 5日（日）	同上	8組（12人）

【参加者の声】

- ・絵は好きだけど下手だったのですが、今回のことで絵は下手じゃないと思いました。
- ・技や工夫をして、絵を描いてとても面白かったです。
- ・色々な技法を学べて良かったし、勉強になった。
- ・また来たいです。この教室大好き。
- ・デカルコマニー、ドリップングなど楽しかった。

【まとめ】

仲間と互いに刺激を受けあい、豊かな感性をはぐくむため、同じ空間で行う「対面講座」にこだわったため、夏休みに予定していたがコロナ禍により延期とし、11月と12月に実施。

「絵に間違いはない」「自由でいい」「本物と同じでなくていい」との講師の声掛けのもと、楽しそうに技法を学び、工夫し作品を創り上げていった。

自由で感性豊かな作品が沢山うまれた。

200人近くの応募があったので、次年度も感染拡大予防に努めながら工夫して実施していきたい。



〔２〕 青年講座

幸せに生きるために

趣 旨：コロナ禍によって生きづらくなっている昨今、将来に対して不安を抱く人が多くなっている。特に青年にとっては少子高齢化社会や経済の悪化など将来への不安材料が多い。社会的な課題の波に「希望」が飲み込まれることがないよう、個々が「人としてよりよく生きる」ことを考えてもらおう。普段、勉強方法や進学について講演が多い木村氏であるが、他の講演では聞けない内容で差別化を図る。

同時に生配信・録画配信することにより、コロナ禍の感染予防として安心し、時間がある時に何度でも視聴できる形式も並行して実施した。

受講料：無料 定員：30人（会場受講）

申込人数：140人（うち会場受講決定人数17名、生配信決定人数9名、録画配信決定人数114名）

講師：木村 達哉（作家・元灘高校教師） 技術支援：宮里 弥杉（シムネットワーク）

★★ 学習プログラム ★★

	会場受講	生配信	録画配信
実施期間	12/26(日) 14:00～16:00		12/28～R4/2/16
場 所	牧志駅前ほしぞら公民館ホール	Y o u T u b e 配信	
対 象	那覇市在住・在学・在勤の青年	どなたでも	
参加者（再生）数	18名	5名	460回

【参加者の声】

- ・「なんのために勉強するか」「何のために働くか」とは、自分のためとかお金のためという自分主体ではなく、周りを笑顔にするためという学びがあってとても良かった。現在、大学生で就職活動をしているが、今回のキムタツ先生の講演会を拝聴できて、とてもよかったです。素敵なヒントをたくさんもらえました。最近将来について考えすぎて不安になっていましたが、お話を聞いて笑顔になりました。
- ・木村先生のご経験を基に、幸せに生きるために大切なことを、楽しく講義頂き、大きな学びを頂きました。「勉強する→周りを笑顔にする→神が「お前めっちゃがんばってるやんけ」とお金を与えてくれるという流れは納得感が非常に高く、自分の子供にも伝えました。私自身も日々、勉強を続けていきたいとあらためて感じる事が出来ました。
- ・今まで学んできたことが凝縮されたような90分間で納得したり新たな発見があったりと充実していた。
- ・私の周りには全国的大企業や医療関係、優良企業に勤める人、中学受験するひとがいません。コロナの影響もあり、残念ながら子育ての環境にも恵まれず子育てが不安で仕方なかった。これを聞いて子どもも私も幸せに生きる方向性がわかって、子育てに自信・確信がもてた。子どもには全国の人と偏見なく対等に仕事ができるような人に育ってほしいので、沖縄にはなかなかいない木村さんのような教育現場をしっているひとの話をもっと聞きたい。
- ・あたりまえで気づかない、新しい視点を教えていただいた。



【まとめ】

現代社会の課題に対し、不安を持っている人は多い。木村氏の話は沢山の笑いが生まれる中、学問の大切さだけではなく、自分自身をもっと大切にしようという熱いメッセージが伝わってきた。受講対象の青年だけではなく、親子で聴講するという人も複数見られた。とても良い内容だったので沢山の人の人々に聞いて欲しいという声も多く、広報の難しさを考えさせられた。

〔3〕 親子ふれあい教室

親子星空教室

趣 旨：天体学習を通じて、豊かな情操と科学心を育てると共に親子のコミュニケーションを深める。
親子で宇宙や星座の学習をすることにより、子ども達の理科への感心を高める。

期 間：令和3年11月6日（土）～令和4年2月12日（土）全4回

時 間：16：30～17：30

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

第一学習室、実習室

対 象：市内小学校4～6年生の親子

受 講 料：無料（但し、写真代・工作材料費500円は自己負担）

定 員：8組16人

申 込 人 数：8組16人（うち受講決定人数16人）

参加延べ人数：49人

講 師：田端 研二（元ほしぞら公民館長）

福里 美奈子・玉城 奈々（プラネタリウム操作技師）



★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	学習内容	参加人数
1	11月 6日(土)	開講式、宇宙について、秋と冬の星座	12人
2	11月27日(土)	楽しい工作♪星座早見盤を作ろう！	12人
3	12月11日(土)	望遠鏡の仕組みと使い方	14人
4	2月12日(土)	閉講式、2022年お勧め天文現象、冬と春の星座	11人

【参加者の声】

- (親)・楽しく学ばせていただきました！ありがとうございます。また参加したいと思います。
- ・「子供と一緒に」でなければ、大人の自分一人では来て学ぶ事がない事も多く、とても楽しめました。
心も体も大きくなった娘との交流の場を作ってくれて、ありがとうございました。
- (子)・多くの星座を知ったり、望遠鏡で見たりして、楽しかったです。
- ・学校では習わなかったことも教えてくれてよかった。

【まとめ】

新型コロナウイルス感染症予防の為、1時間縮小して講座を行った。時間が足りない中、事前に動画を見て予習をお願いした。親子で一緒に望遠鏡を組み立てたり、宇宙や星について考えたりと楽しく知識を習得することができた。



5 家庭教育事業

〔1〕 家庭教育学級

宇宙の学校 「わたしたちも宇宙人」

趣 旨：子どもたちが生活の中で「フシギ」と感じる自然現象などを科学の視点から親子で取り組む（実験や工作、家庭学習）ことにより理解に繋げる。子どもには学ぶことの楽しさを実感、親は家庭で見られない子の「取り組み、学ぶ姿」に関心を寄せてもらいより良い親子関係の構築を目指す。今年度は家庭で作って楽しめる紙筒ロケットの作成。そして海洋環境について学ぶ。

期 間：11月14日（日）～12月12日（日）全3回 時間：14：00～16：00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 パソコン室、ホール

対 象：那覇市内の小学校1～3年生の児童と保護者

受 講 料：無料（但し、材料費・保険料300円は自己負担）

定 員：10組20名 申込人数：21組42人（うち受講決定人数10組20人（抽選））

参加延べ人数：56人

講 師：①田端 研二（元ほしぞら公民館長）、②島田 春奈、③小寺 克巳（GODAC）

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	講師	参加人数
1	11月14日（日）	紙筒ロケットを飛ばそう ・宇宙の学校について ・紙筒ロケット作りと発射！	田端 研二	18人
2	11月28日（日）	海のゴミでアート！？ ・海洋ゴミ ・シーグラスアート	島田 春奈	20人
3	12月12日（日）	マリンデブリってなんだろう ・マイクロプラスチック 海洋ゴミが自然に還るまで	小寺 克巳	18人

【参加者の声】

- ・印象に残った事は3回とも全部です。①天体に興味を持てました。観察会にも参加できて良かったです。②プラゴミがこれほどまでに深刻だということを初めて知りました。行動が変わりました。③プラスチックや人間活動が及ぼす自然への負荷を考えさせられました。SDG'sのことを息子は初めて聞きました。
- ・子どもが理解しきれない心配だったが、環境問題について考えていてくれた。何より大人も勉強になることが多かったです。



【まとめ】

コロナ禍で見通しがつかないため企画が立てにくく、今年度は回数を減らした。それが受講者にとっては物足りなさを生んだようである。回が減ったので狭く深くの学びに転向した(GODAC との打合せにより)。



最終回では子ども達がそれぞれ学んだことや気づいたことなどを発表した。全ての参加者がしっかりと内容のレポートを仕上げて立派な発表会となった。今回は保護者にも、子どもが課題に取り組む姿を見て気づいたことを発表してもらった。親が子に関心を持つだけで子の自己肯定感や学ぶことへの励みになる（コーチングに繋がる）。今回は②の講師である Haruna(島田春奈)氏のアート作品展示を11月18日から12月28日まで開催した。

宇宙の学校参加者はもちろん、来館者が足を止めて見入る様子があった。

☆凸凹キッズの子育て術☆ なんでもないを楽しもう

趣 旨：凸凹のある子（発達障害といわれる）を育てるのは、親自身が周りに否定されることや、子育てに行き詰まりを感じるなどストレスを感じる人は多い。辛い子育てではなく、その子の特性を理解して向き合うことで子どもの足りない部分をサポートし、強みを伸ばしてあげることに繋がる。また、それは子育てを振り返るときに親自身が納得できる子育てとなり、子育てで悩む他者の良き理解者となることができる。

配信期間：9月2日（木）～10月13日（金）

場 所：Y o u T u b eにて限定配信

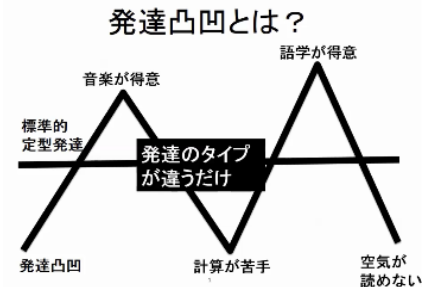
対 象：那覇市在住・在勤の保護者 受講料：無料

定 員：なし 申込人数：79人 視聴回数：計645回

講 師：1 平岡 禎之（コピーライター）、平岡 成子（教員）

2 鈴木 ミナ子（沖縄県立看護大学 助教）

3 経験者



★★ 学習プログラム ★★

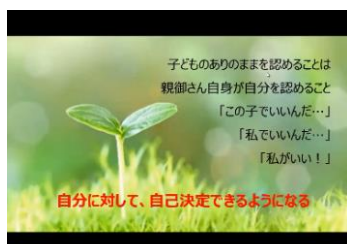
	内 容	講 師
1	火星人と言葉の力 ①発達凸凹とは ②居場所について ③平岡家の行動療法	平岡 禎之 平岡 成子
2	頑張っているみなさんへ。そのままで大丈夫 ①発達が気になる子について ②支援について ③子の困り感について ④ペアレントトレーニングとは	鈴木 ミナ子
3	凸凹姉弟の子育て ①家族について ②大変だったこと ③なぜ頑張れたか ④現在の子ども達 ⑤頑張っている子育て中の人へ	経験者

【参加者の声】

- ・すごく内容の深いボリュームのある講座を無料で受講できたのは、とても有難いと率直に思いました！とても参考になりました。
- ・発達障害や凸凹キッズについての理解が深まり、行動療法やアンガーマネジメントなど、生活のなかでの子育てのコツ、工夫も学べる内容だったので、勉強になりました。
- ・我が家の（私の）困り感とタイミングが合ったこと／動画の配信により細切れになっても聴くことができたこと／数日前に聞いた所を聞き直すと、心への入り方が違うこと／当人達にも一部聞かせることができたこと（私の話は信用しないので説得力がありました。）以上の項目すべてに有難く、この機会を設けてくださり感謝致します。
- ・3部構成になっていることもとってもわかりやすかったです。1で理解を深め、2で対応を学び、3で経験者の話を聴きながら私自身、家族がもしかしたら発達凸凹かも？と思っている時期でいろんなことが頭に浮かび、涙が出てきました。今は相談できる相手がいないので、これを機に福祉事業所など相談できる窓口を探したいと思います。

【まとめ】

特性を親が理解し対応することで、子どもの長所を活かした子育てができる。それは凸凹の有無ではなく、辛い子育てから「楽しい」になる。それには相談や本音を吐露できる家族や友人、行政的支援が必要であり、現代社会の抱える課題「孤育て」を解消することに繋がっていく。また、コロナ禍において家庭で抱え込んで辛い子育てをしている人が多いと推測できる。時間のある時に動画で何度でも学べるのは利点だと考える。



〔2〕 乳幼児学級

にゅうじランド

趣 旨：ママの心と身体は健康は、赤ちゃんにとっても家族にとっても大きな影響を与えるけれど、コロナ禍で多くの制限をかけられた中での子育てで、ママは大きなストレスを抱えつつも頑張っている。そんなママを応援！！

期 間：令和3年11月19日（金）～12月3日（金）全3回
 時 間：14：00～16：00
 場 所：牧志駅前ほしぞら公民館（1・3回目）、各家庭（2回目）
 対 象：市内の6か月から2歳未満の子を持つ親子
 受 講 料：無料（但し、保険料・材料費500円は自己負担）
 定 員：10組20人
 申込人数：12組24人（うち受講決定人数10組20人）
 参加延べ人数：50人



講 師：真喜志 リエ（一般社団法人まままる協会代表）、伊禮 千佳（ベビーママヨガインストラクター）、
 中田 太美子（リンクライフ株式会社 代表取締役）、福里 美奈子（プラネタリウム操作技師）、
 子育て応援課

★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	内 容	講 師	参加人数
1	11/19 (金)	・ベビーマッサージ ・ベビーマッサージを実際に体験しながら交流。	真喜志 リエ 伊禮 千佳	20人
2	11/26 (金)	アンガーマネジメント。 怒り、イライラを上手にコントロール。	中田 太美子	10人
3	12/3 (金)	・ママの為のプラネタリウム。 ・那覇市の子育て情報	福里 美奈子 子育て応援課	20人

【参加者の声】

- 1回目：コロナ禍でこのような講座になかなか参加できなかったのでもいい機会になった。
- 2回目：とても楽しく分かりやすかった。今後役に立ちそう。夫とシェアしました。感情を他目線でとらえて、自分の気持ちを落ち着かせる事が出来たらいいなと思いました。
- 3回目：星空が大好きなのですが、出産後見る機会がなく、今日は良かった。子どもを預けて受けられる講座は他になく、本当にありがたかったです。保育園関係の情報を伺いに役所へ行こうかなと思っていたところだったので本当に良かった。

【まとめ】

出来るだけ中止や延期が無いよう、コロナ禍の小康期間に3回講座に縮小し、実施した。短い期間では、仲間作りにまでは至らなかったのは残念である。しかし、参加出来て良かったとの感想は多く、交流や体験、癒し、学びが出来たことは良かった。



6 その他の事業

〔1〕 プラネタリウム事業

久茂地公民館の前身である沖縄少年会館から引き継いだプラネタリウムは、45年間もの間、青少年に科学の夢を与え続けてきた。しかし建物の老朽化により牧志駅前ほしぞら公民館に機能移転し、プラネタリウムも最新型のハイブリッド式へと生まれ変わった。

新機種の導入により、地球上での星空だけでなく、地球を飛び出し宇宙空間を移動することも可能で、過去や未来の星空など、時間軸の移動も容易となった。また、各地の風景を投影するなど、より臨場感あふれる演出となり、幼児から大人までを対象に、宇宙への好奇心を育んでもらう役割を引き継いでいる。

平成25年度より、一括交付金を活用して製作したオリジナル番組を投影している。

- 【観 覧 料】 (一般料金) 大人200円、高校生150円、小中学生100円
(団体料金) 大人160円、高校生120円、小中学生 80円
※那覇市内小中学生無料、未就学児全般無料、那覇市内65歳以上は100円
- 【所要時間】 約45分～50分(幼児番組は約40分)(学習投影は内容により1時間30分まで可能)
- 【定 員】 1回の投影で84名まで。
- 【休 演 日】 月・火曜日、祝祭日・年末年始・慰霊の日(6/23)・機械点検日、番組調整・講座等使用日
- 【受 付】 ≪一般投影≫ 観覧当日、投影1時間前に観覧料を購入
≪団体投影≫ 10名以上の団体で、観覧一週間以上前に申請し許可を受ける。
市内所在団体は4月から、市外所在団体は5月から受付開始。

【プラネタリウム投影の内容】 ※①～⑥と、10分～25分程季節の星空解説を合わせて行う。

- ①幼児対象番組 「月にはだれがすんでいるの?」「かめっちとぺんた」
「おーい!アカナー!夜空を見上げよう」
- ②高学年対象番組 「宇宙船さいおん号で出発」「GO!メガシーサー!宇宙への夢、無限大」
「宇宙と島の大冒険 GO!メガシーサー!」
- ③一般向け対象番組 「美ら島・星の旅」「月と星・島々の歳時記」「チムグクルをとりもどせ!」
「みんな生きている。宇宙・星・島々…」
- ④うちなーぐち番組 「美ら島・星の旅」「残したい言葉・伝えたい想い」
- ⑤小・中・高校生対象の学習投影 「学習番組」「時空を超えて～夜空の見方を大転換～(夏)、(冬)」
- ⑥宇宙の最新情報、天文現象の解説

☆通常期(繁忙期以外)

	10:00	14:00	18:30		13:30	15:00	16:30
水	団体	団体		土	一般	一般	一般
木	団体	団体		日	一般	一般	
金	団体	団体	一般				

☆繁忙期(7月、那覇市立小学校の夏・秋・冬・春休みの期間)

	10:00	11:00	14:00	15:30	18:30
水	団体	団体	団体	一般	
木	団体	団体	団体	一般	
金	団体	団体	団体	一般	一般

	11:00	13:30	15:00	16:30
土	団体	一般	一般	一般
日		一般	一般	



〔2〕プラネタリウムにおける新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み

- 1 「三つの密」を避けるための対策
 - (1) 1日の投影回数を減らし、興行場法に基づいた空調設備を稼働させ、投影と投影の間には扉を開け外気を取り入れての適切な換気を実施
 - (2) 人と人の距離を1～2m程度開けて座る場所を指定
そのため、団体投影は42人、一般投影は22人程度に制限
 - (3) 多数の方が密集することがないように団体投影は1投影につき1団体、一般投影は事前予約制
- 2 利用者の安全確保について
 - (1) 入館前の健康チェックの実施
 - (2) 利用前後の手指消毒
 - (3) マスクの着用
 - (4) 並ぶ際の前後2mの間隔の確保
 - (5) ドーム内での会話を控える
 - (6) 座席、手すり、肘掛けなど直接触れる機会の多い箇所の定期的な除菌・消毒の実施
 - (7) スタッフ全員のマスク着用および勤務前の検温と手指消毒の徹底

3 令和3年度投影スケジュールの変更について

以下のスケジュールで投影を実施

	10:00	14:00	18:30		13:30	15:00	16:30
水	団体	団体		土	一般	一般	中止
木	団体	団体		日	一般	一般	
金	団体	団体	中止				

※1投影に対し、団体は1団体のみ42人程度、一般は22人程度の制限あり

※一般投影をご覧いただくには事前の予約が必要

4 投影中止期間

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う中止期間
 - ① 令和3年5月26日から7月11日まで
 - ② 令和3年7月28日から10月3日まで
- (2) メンテナンスに伴う中止期間
 - ① 令和3年6月12日から6月22日まで（定期メンテナンス）
 - ② 令和3年11月28日から11月30日まで（定期メンテナンス）



特別投影 3年ぶりだよ！皆既月食

趣 旨：皆既月食についてプラネタリウムで事前に学習し、3年ぶりの皆既月食をより楽しむことで天文現象に興味を持ってもらう。

期 日：令和3年5月21日（金）※同内容で2回開催

時 間：17:00～18:50

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

対 象：小学生以上

受 講 料：無料

定 員：44人（各回22人）

申込人数：33人（うち受講決定人数33人）

参加延べ人数：33人

★★ 学習プログラム ★★

回数	時間	内容	参加人数
1	17:00～17:20	・月食の仕組み ・沖縄ではどう見えるか ・観察のポイント ・赤銅色になる理由	20人
2	18:30～18:50	同上	13人

【まとめ】

新型コロナウイルスの感染予防対策を行いながら投影を行った。今回の皆既月食は月出帯食だったので、皆既の時間はあまり高度が上がらず観察会を行うことが難しかった。事前に学習することで個人や家族でも、密にならずに楽しめることから特別投影を行うことにした。プラネタリウムを利用することで、実際の月の高さや周りの天体の様子などを再現し、観覧者にとって理解しやすい事前学習になったと思う。

当初は18:30だけの予定だったが、すぐに予約満席となったために17時の回を増やした。



撮ったよ～！3年ぶりの皆既月食

趣 旨：令和3年5月21日に3年ぶりに皆既月食を観察することができた。星空案内人や天文に興味を持つ方々が撮影した皆既月食の写真を配信し、市民をはじめ全国の天文ファンに楽しんでもらう。

配信期間：令和3年6月10日（金）から無期限

再生時間：5分2秒

場 所：インターネット動画アプリYouTube

牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム・操作技師チャンネルにて配信（QRコード参照）

対 象：動画視聴可能な方

受 講 料：無料

解 説：福里 美奈子（プラネタリウム操作技師）

視聴回数：492回（令和4年3月31日現在）

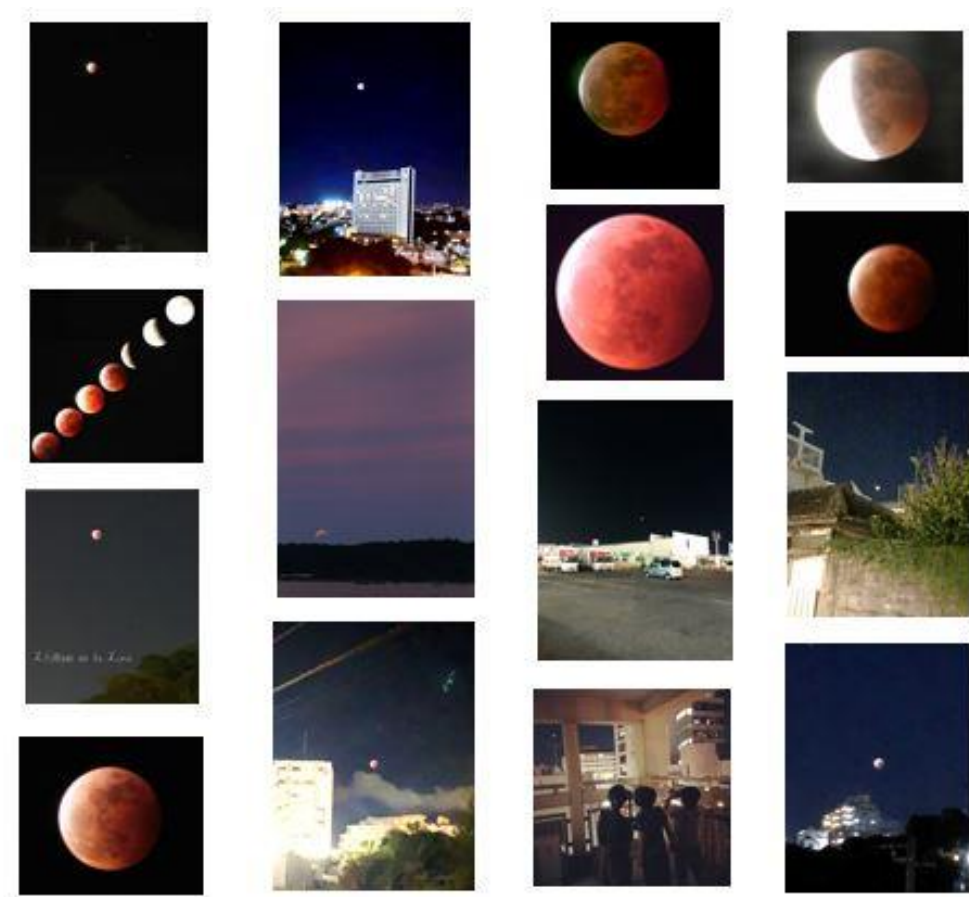


★★ 学習プログラム ★★

皆既月食時の月の形や色の変化を写真でみて振り返る。

【まとめ】

新型コロナウイルスの感染拡大予防のために、これまでのようにみんなで一緒に星空を見上げる機会がなくなってしまった。しかし、今回の皆既月食のような天文現象の際には多くの天文ファンが同じ時間にそれぞれの場所で星空を見上げる。これまでのように集まることができなくても同じ時間と感動を共有していることを感じることもできた。天文ファンの皆さんの撮影した写真を集めて動画として配信することでみんなで空を見上げる時の楽しさを思い出してもらえたと思う。



部分月食特別投影

趣 旨：事前にプラネタリウムで学習する事で皆既月食の仕組みや観察の仕方を知り、より天文現象に興味を持ってもらう。

期 日：令和3年11月19日（金）

時 間：15:00～15:30

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

対 象：小学生以上

受 講 料：市内在住・在勤・在学生は無料（市外は通常料金）

定 員：22人

申込人数：16人（うち受講決定人数16人）

参加人数：16人

★★ 学習プログラム ★★

- ・皆既月食の仕組みと種類
- ・当日の観察の仕方

【まとめ】

5月に引き続き、2021年2回目の月食だった。平日の早い時間の投影に関わらず、予想以上に多くの方が観覧してくれた。視覚的に分かりやすいように、図や動画を使って月食の仕組みや種類、観察の仕方について解説をした。月食の時間帯に新都心公園で観望会を開いた。感染対策を取りながら、通りすがりの方達と一緒に月食を観察した。その模様がテレビで紹介された。

那覇市市制100周年記念関連事業・牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム10周年記念事業

100th
那覇市市制100周年

部分月食 特別投影

牧志駅前 10周年 / ほしぞら

月の色が変わるよ！
なんだろう？

プラネタリウムで月食について学ぼう！

投影日：11月19日（金）
15時～15時30分

※事前予約が必要です。

11月19日の日没後、ほとんど地球の影に隠れた部分月食を見る事ができます。プラネタリウムで、月食の仕組みと見方のポイントについて学ぼう！

月の出：17時35分 ※すでに影に隠れ始めている
食の最大：18時2分
月食の終わり：19時47分

東の空低い所で見えるよ。
高い建物や山がないか
事前に確認しておこう！



熟睡プラ寝たリウム

趣 旨：普段とは違った投影でプラネタリウムの星を眺めながらリラックスしてもらい、星や天文への興味をさらに持ってもらおう。

期 間：令和3年12月4日（土）～5日（日）全2回

時 間：15:00～15:45

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

対 象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

受 講 料：市内在住・在勤・在学生は無料（市外は通常料金）

定 員：各投影22人

申込人数：44人（うち受講決定人数44人）

参加延べ人数：43人

★★ 学習プログラム ★★

日 程	学習内容	参加人数
12月4日（土）	・ストレッチ体操 ・ニュージーランドの星空 ・アルゴ座の物語	22人
12月5日（日）	・冬の星座 ・「手袋を買いに」朗読	21人

【まとめ】

明石市立天文科学館主催で2011年勤労感謝の日に始まった熟睡プラ寝たリウムは、その後全国各地のプラネタリウムで開催されるようになり、当公民館プラネタリウムは2017年から参加し、今回で4回目となる。大変人気のある投影ですぐに満席になる。

また新聞やテレビ取材で毎回取り上げられ、プラネタリウムの周知に役立っているイベントとなっている。

今年度は新型コロナウイルス感染症予防の為、定員数を4分の1の席で案内した。

投影後は、「大変リラックスした。よく眠れた」「毎月開催して欲しい」など、観覧者から大変満足したと喜びの感想を頂いた。

那覇市市制100周年記念関連事業・牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム10周年記念事業





熟睡 プラ寝たリウム



12月4日（土） 15:00～15:45
5日（日） 15:00～15:45
（開場は投影開始の10分前）
 受付期間：11/29～12/3 9:00～17:00



プラネタリウムでぐっすり眠ってみませんか？



枕やぬいぐるみもってきていいよ～

沖縄の天気と星空観察

趣 旨： 星空観察をする際に、最も気になるのが天気と大気の状態である。

沖縄気象台で週間天気予報を担当し、天体写真や星の文化の調査をしている友利健氏を迎えて他県とは違う沖縄の気候を知り、季節ごとの天気の特徴を知ること、一層楽しく充実した天体観察を行えるようにする。

期 日： 令和3年12月19日（日）

時 間： 15:30～17:30

場 所： 牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

対 象： 高校生以上（那覇市在住・在勤・在学）

観 覧 料： 無料

定 員： 22人

申込人数： 26人（うち受講決定人数22人）

参加人数： 22人

講 師： 友利 健（沖縄気象台 予報官）



★★ 学習プログラム ★★

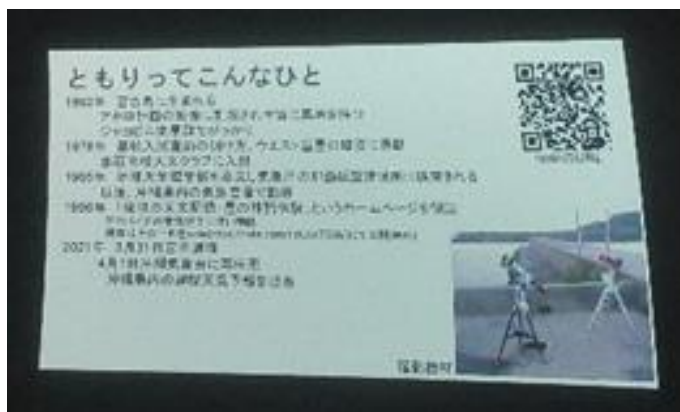
- ①気象庁のホームページの便利な使い方や見方。
- ②年間を通しての沖縄の天気の特徴。
- ③沖縄で撮影した天体の写真と解説。

【参加者の声】

- ・引き続き、星空・天文に関する講演会を開催してほしいです。
- ・このような講座を多く開催していただきたい。
- ・いつもながらスタッフの皆さんありがとうございました。
- ・琉球王朝時代からの「観天望気」やさらに詳しい天文現象などのお話を聞きたいです。

【まとめ】

沖縄ならではの天気の特徴と星空観察での活かし方についてとても興味深い内容だった。沖縄の基礎と天文を楽しむ方法を学べる機会はあまりないので、今後もさらに工夫を加えて続けていきたいと思う。また、後半に見せてもらった天体写真がとても素晴らしかった。



那覇市市制100周年記念関連事業・牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム10周年記念事業

沖縄の天気と星空観察

☆より楽しく星空観察するために☆

令和3年
12.19(日) 15:30～17:30(開場15:20)
那覇市牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム
☎ 098-917-3443

沖縄で冬の晴天率が最も高いのはいつかな？ 天体観察に最適な時期は？ 台風はどんなのかな？
シーイングとジェット気流の関係は？ ジェット気流ってなんだろう？

友利 健氏（沖縄気象台 予報官・天体写真家）
1975年那覇市天文クラブに入会
1985年4月那覇市天文クラブに所属
2021年9月定年退職
2021年4月より那覇市気象台に再任用となり、沖縄地方の気象予報を担当する。
趣味で天体観望や天体写真撮影。沖縄の地の文化について関心を持ち撮影を行っている。

事前申し込みが必要です。

対 象： 高校生以上（那覇市在住・在勤・在学者）
定 員： 22名（先着）
参 加 料： 無料
申し込み： 12月6日(月)～10日(金) 9:00～17:00（電話が直接来線）
電話番号： 098-917-3443

※新型コロナウイルスの感染予防対策を行い実施します。
※電話予約の優先・感染予防への協力をお願いいたします。

10周年記念特別投影「思い出はあざやかに」

趣 旨：那覇市市制100周年・ほしぞら公民館プラネタリウム10周年を記念した企画投影を行う。
プロジェクターのリニューアルで一層明るくなったドーム映像にのせて沖縄のプラネタリウムの歴史を学ぶ。

期 日：令和4年3月12日（土）～13日（日）

時 間：15：30～16：15

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

対 象：小学生以上

観 覧 料：市内在住・在勤・在学者は無料

市外（大人200円・小中学生100円）

定 員：各回22人

申込人数：12日（土）28人（うち受講決定人数28人）

13日（日）24人（うち受講決定人数24人）

参加延べ人数：49人

★★ 学習プログラム ★★



回数	日程	内容	参加人数
1	3月12日（土）	戦後間もない頃に、沖縄の子どもたちの健全な成長を願った人々の力により、プラネタリウムが導入されてから、今日まで	28人
2	3月13日（日）	このほしぞら公民館プラネタリウムへと途切れることなく繋がっている。当時の写真や動画を交えてその歴史を学ぶ。	21人

【参加者の声】

- ・泣けてきた。確かにそこにいた記憶があざやかによみがえり良かった。
- ・私も幼稚園の時に久茂地公民館でプラネタリウムを見て感動して以来、星座を見続けているひとりです。これからもここ「ほしぞら公民館」で楽しいプラネタリウムが上映できること、子どもたちに星座の素晴らしさを伝えられることを願ってやみません。
- ・いつもながらスタッフの皆さんありがとうございました。
- ・初めてでとても感激した。子どもや孫たちを次に連れて来たい。
- ・歴史を知ったうえで眺めるプラネタリウムはいつもと違って奥行きのある雰囲気味わえた気がします。

【まとめ】

- ・新型コロナの影響で延期が続きやっと投影することができてほっとした。歴史の番組は興味のない人には退屈なものかと思ったがアンケートで高い評価をもらうことができたので、制作して良かったと思った。
- ・今回の番組制作でプラネタリウムのプログラミング技能や番組制作の技能を高められたことで、今後のプラネタリウム投影の新しい活路が広がったと感じた。これからもイラストや映像を生かしたショート番組制作を行い、市民が何度も訪れてくれるプラネタリウムを目指したい。



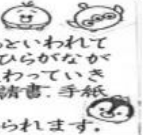
7 公民館まつりについて

那覇市牧志駅前ほしぞら公民館連絡協議会において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年2月に開催している公民館まつりを次年度に延期することになりました。そこで、令和3年度は当該まつりでのサークル紹介の機会に代わるものとして、サークル紹介冊子を作成しました。

《サークル紹介冊子の内容》

那覇市牧志駅前 ほしぞら公民館 サークル紹介



	活動日：毎週土曜日15:00～17:00 種 類：書道 ペン字
一生ついてまわるもの!! 美しく書くことを目指します。 こする文章の70%を占めているといわれて はなの基本から学びます。ひらがなが 字が見違えるほど美しく変わっていき 余の多くなってきた横書きの申請書、手紙 くり返し学びます。 どなたでも いつからでも はじめられます。	
	活動日：毎週金曜日10:00～12:00 種 類：書道 書道は毎週金曜日午前10時から12時まで書道の上達を主とし、会員の めながら作品の完成を楽しんでいます。
	活動日：毎週金曜日13:00～15:00 種 類：絵画
もテーマも自由！仲里衣子先生の指導のもと、水 アクリル画、油絵、色鉛筆、パステルなど、それぞ れマイペースに楽しく描いています。	会員募集中! 見学も体験も お気軽にどうぞ! 
20	
NG	団体名：水彩画サークル 星空
21	活動日：毎週水曜日10:00～12:00 種 類：絵画  みずみずしい絵画表現としての水彩画を講師指導の下、楽しく描いています。 初心者歓迎します。
NG	団体名：アートセッション
22	活動日：毎週水曜日14:00～17:00 種 類：絵画・パソコン絵画  「サークル・アートセッション」は、サークル名のとおり、各人好きな自由アートでセッ ションするサークルです。 画用紙に描く派にパソコンを前にタブレットで描く派が加わり、相乗効果も上がり楽 しく活動中です。